

(7) グループカウンセリング研究会

会 長 矢野川 研 (八東中)
副会長 上村 啓太 (具同小)
事務局 大原 慎一 (大用中)

1. 研究主題

「人間関係を高める教育指導法の研究」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会 場	備 考
令和元年 5月 8日(火)	四万十市教育研究大会 ・役員選出 ・研究主題設定	中村南小学校	17名参加
令和元年 8月20日(火)	第2回 夏季研修会 ①講和と仲間づくり実践活動 ②課題克服のための手立て・実践 ③研究授業案検討 講師：岡田 栄喜 (土佐清水市立清水小学校教諭)	具同小学校	16名参加
令和元年10月 2日(火)	四万十市教育研究大会 ①提案授業 「空飛ぶタマちゃん」 2年 男子7名女子24名 ②提案授業の反省と今年度のまとめ	県立中村中学校	17名参加

3. 令和元年度四万十市教育研究大会

提案授業後の反省

<授業者より>

- ・初めての出会いが大切で、生徒たちはこれから何をするかドキドキしているので、何をするかを明確にすることが大切であり、お互い確認をした。
- ・男女比が極端なので、男女のつながりを意識して仕組んでいった。
- ・簡単なルールを作り、徹底させることが大切である。例えば、私語が出だすと集中させるためのしぐさを決める。(ルールを聴くことの大切さを伝える)
- ・失敗をしてもOKとして、人のことを非難しない。(常に友達を意識させた)
- ・「人数が多くなるにつれて、成功しにくくなるのは何故かと」と考えさせる。

<参観者より>

- ・指導者の説明が分かりやすく、生徒たち動きがスムーズであった。
- ・今日の授業はとてもよかった。夏休みの体験したことで、イメージがつかみやすかったし、生徒に伝えやすかった。
- ・今回初めて参加する中で、実際自分が行う中で熱の入る子どもがいた場合の対応などの仕方なども分かりとてもよかった。
- ・生徒たちは良く協力して、考えながらできていた。また、男女の隔たりもなく行動ができていたように思う。

- ・生徒たちの姿を見ていると、活動を通して笑顔が多くみられたのがとてもよかった。
- ・指導者の意図にあった行動ができていた。(考えながら、学習課題に取り組んでいる生徒が多くいた)とても理解が早い。
- ・今までにない、発想が見られた。(タマちゃんをキャッチする際に、全員が座る)
- ・しっかりとした生徒が、多く見られた。リーダーとしてまとめ役もいたように感じる。
- ・生徒に対しての指導者の働きかけ方がとても参考になった。
- ・振り返りシートもしっかり活用ができていた。

4. 今年度の成果と課題

- ・夏休みの研修で演習したことが、今後の自分が行うときのプラスになった。体験することで、イメージができた。
- ・夏の研修で課題を持っているクラスの起爆剤になるアプローチの仕方や仕組みなどが分かってよかった。
- ・いろいろな学級で実践する中で、生徒たちの目の輝きが変わってくるのが楽しみ。
- ・一回だけでなく複数回やるのが大切で、継続することが重要である。
- ・学期に2回行い、レポートリーが増えた。
- ・外部講師を招聘して、研修を行ったことはとても刺激になってよかった。